

代表者名	佐藤清雄	所管部課名	産業経済労働部観光課
所在地	田沢湖町玉川字渋黒沢国有林	設立年月日	平3年10月22日

【沿革及び県の出資理由】

県のリゾート構想に基づき、玉川重点整備地区に民間宿泊施設及び自然公園施設が整備される予定であったことから、地区内の県有基盤施設の維持管理や、給湯施設の整備等を目的に県等の出資により平成3年10月設立。

【出資者】(17年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	5,000	50.0
市町村	1	1,000	10.0
その他	2	4,000	40.0
計	4	10,000	100.0

【事業】

主たる業務

新玉川地区進出企業に対する玉川温泉供給施設の整備運営

事業実績

(人)

事業名等	14年度	15年度	16年度
ビジターセンター来場者数	29,986	28,020	27,644

16年度事業概要及び17年度事業計画・目標

16年度
 ビジターセンター管理運営事業、給排水施設等維持管理事業、玉川園地駐車場管理業務
 17年度
 ビジターセンター管理運営事業、給排水施設等維持管理事業、玉川園地駐車場管理業務

【組織】

運営機構



役員数

(人)

	取締役	監査役
常勤		
内、県OB		
非常勤	5	1
内、県OB		
内、県職員	1	1
計	5	1
内、県関係者	1	1

職員数

(人)

正職員	正職員平均年齢
内、県OB	
出向職員	1 歳
内、県職員	
臨時・嘱託	正職員平均勤続年数
内、県OB	
計	1 年
内、県関係者	0

【財務】

損益状況(16年度)

(千円)

	金額
経常収入 A	30,865
受託事業収入	30,859
補助金収入	
自主事業収入	
運用益収入	
その他	6
経常支出 B	30,785
人件費	5,426
その他	25,359
経常損益 C = A - B	80
経常外収入	
諸税	80
当期損益	0

(百万円)

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

財務状況(16年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	32,254	99.8
固定資産	64	0.2
資産計	32,318	100.0
流動負債	22,318	69.1
短期借入金		0.0
固定負債		0.0
長期借入金		0.0
引当金等		0.0
負債計	22,318	69.1
資本金	10,000	30.9
剰余金		0.0
資本計	10,000	30.9
負債・資本計	32,318	100.0

(千円 %)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
----------	------	-----	-----

【県の財政支出】

(千円)

	14年度	15年度	16年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	14,533	15,402	13,521	県有基盤施設の維持管理事業
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	14年度	15年度	16年度	14-15増減	15-16増減
健全性	自己資本比率	%	37.63	35.50	30.94	2.13	4.56
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	159.95	154.69	144.52	5.26	10.17
収益性	剰余金(欠損金)	千円	0	0	0	0	0
	経常利益率	%	0.37	0.27	0.26	0.10	0.01
	総資本利益率	%	0.38	0.28	0.25	0.09	0.04
発展性	経常収入額	千円	27,077	29,846	30,865	2,769	1,019
効率性	総資本回転率	%	1.02	1.06	0.96	0.04	0.10
	職員1人当たり経常収入	千円	27,077	29,846	30,865	2,769	1,019
	人件費比率	%	15.83	18.16	17.58	2.34	0.58

2 経営目標の達成状況

経営目標			14年度	15年度	16年度	17年度
経営改善指標	県委託費(千円)	目標		14,900	14,900	14,900
		実績	14,533	15,402	13,521	
経営改善指標	ビジターセンター来場者一人あたり管理経費(円/人)	目標		167	167	167
		実績	166	197	183	
事業成果指標	ビジターセンター来場者数(人)	目標		30,000	30,000	30,000
		実績	29,986	28,020	27,644	
事業成果指標	給水量(m ³)	目標		200,000	270,000	270,000
		実績	182,331	208,778	228,923	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

県が建設した自然公園施設、基盤施設、給排水施設等の維持管理業務の受託について、16年度は概ね目標どおりに達成できましたが、例年になく大雪のため基盤道路にかかる除雪業務が受託料を大幅に上回る経費の支出を伴った。

今後の課題は、除雪機械の老朽化により修理費用が膨らんでおり限界近くになっておりますので、県で使用の車両の払い下げを要望したい。また、源泉のP.H値が下がっておりますので、各施設と連携して中和処理後の放流P.H維持に努めたい。

4 総合評価

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容